

第 4 回 人生 8 5 年 ビジョン 懇談会
川勝委員発表資料

平成 2 0 年 2 月 2 0 日 (水)

(1) 人生の理想

インドでは 4 住期が理想「学生（がくしょう）期—家住期—林住期—遊行（ゆぎょう）期」
中国では「15 で学に志し、30 で立ち、40 不惑 50 天命 60 耳順 70 己の欲するところに従いて則をこえず」（『論語』）

日本：花のある生き方（世阿弥『風姿花伝』「時分の花 — 老い木の花 — まことの花」
「秘する花を知ること。『秘すれば花』なり、秘せねば花なるべからず。」（恋も？）

「男時（おどき）」＝なべて勢いづき上向きするとき

「女時（めどき）」＝なべて勢い失い不如意するとき

「命には終わりあり。能には果てあるべからず」『花鏡（かきょう）』

（「命短し、芸術は永し」「命短し、恋せよ乙女」）美的なもの、女性的なものへの傾き

(2) 寿命いろいろ

キリスト 30 代、孔子 70 代、ブッダ 80 歳（みな、男）

(3) 女時＝（平和、少子化、人口は安定）

第一の女時：平安時代

第二の女時：江戸時代

第三の女時：現代

(4) 死生観の変遷

縄文：山に還る

古代：怨霊—鎮魂

平安の貴族の時代：浄土

鎌倉～江戸の武家の時代：「お家」のため 滅私奉公

戦前の戦争の時代：「お国のため」＝滅私奉公

戦後の経済の時代：「会社のため」＝滅私奉社

(5) 死

一人称の死（自分自身） / 二人称の死（肉親、恋人、分身） / 三人称の死（第三者、body）

(6) 人生 85 年時代のビジョン＝「花（美しさ）をもつ、花のある生き方をしよう」、「男女共同で勢いのある『男時』をつくろう」、「文化力（生き方の魅力）をあげていこう」

(i) 国家の仕事

「理不尽な死に方」をさせない（不戦、安全保障、セイフティネットの整備）

(ii) 企業の姿勢

「理不尽な生き方」を強くない（男女共同参画、ワーク＆ライフのバランス、子育て支援）

(iii) 個人の姿勢 美しい存在への希求

秘する花、秘せざる花、「表」も「奥」も主役

美しく生きる（己のため己に投資し、世のため、他人のため、社会のため、美しく生きる）

他人とのかかわり 消極的（ヒトに迷惑をかけない生き方）から積極的（役に立つ生き方）へ